

2018年度 交換留学 留学報告書

国際交流学科 3年

留学先：韓国 新羅大学

留学期間：2018年2月～2018年12月

11ヶ月間の留学が終わりました。留学に行く前までは、約1年間なので結構長いな、外国に一度も行ったことのない私が、外国で1年間も暮らすことができるのかなと心配に思っていました。いざ留学に来て生活を始めてみると、毎日過ぎていくのが本当に早すぎて、すぐに1学期が終わり、夏休みが終わり、2学期が始まったかと思えば2学期も終わり、楽しかった留学生活は本当に秒で終わってしまいました。1学期は主に語学堂で日本人や中国人とともに韓国語を中心に勉強していました。日本の韓国語の授業では主に座学を中心に勉強していたので、語学堂では5級のクラスに入れたのですが、最初の頃は友達と全く話すことができなくて、私はこの高級のクラスでやっていけるのかなととても不安でしたが、語学堂の友達や4月に加入したバンドサークルで出会った韓国人の友達と、勇気を出して積極的に話したりしていくうちにだんだんと慣れることができました。そして語学堂の授業では普通の授業と並行して、TOPIKのライティングパートの対策などもたくさんしたので、今までTOPIKを受けたことがなく、私の留学中の目標もTOPIK5級合格だったのですが、7月にみんなで受けたTOPIKで5級より上の6級に合格することができて本当にうれしかったですし、この5ヶ月間自分自身も大きく成長することができたかなと感じました。

2学期は語学堂の授業は受けなくて、韓国人学生と同じ学部の授業だけを受けました。学部の授業は1学期にも1つだけ受けていましたが、2学期は5つの授業を履修していたので、きちんと授業を聞いて韓国人学生と同じようにレポートやテストを乗り越えることができるか本当に不安でしたし、1つの授業は発表と討論をしなければならない授業だったので履修修正期間に履修をあきらめるか本気で悩みました。それでもせっかくの機会なので挑戦してみることにし、12月にレポート、発表・討論、期末テストとすべてをしなければならなくて、母語ではない言語ですべて行わなければならないという状況の中、本当にとても大変で、討論ではスムーズに自分の意見をすべて伝えることはできませんでしたが、準備したことを最大限に生かすことができ、全て諦めずに最後まで頑張ることができたかなと思います。またこの11か月間で韓国人の友達だけでなく、中国人、アメリカ人、フィンランド人など幅広い人々と友達になり、お互いの言語や文化を教え合ったり、お互いの国の食べ物を交換し合ったりして、留学中のもう一つの目標であった国際交流という点でも活動することができ、とても良い経験を楽しみながらすることができました。

長いようでとても短かったこの11ヶ月、今回の留学を通じて、何事にも挑戦し最後まであきらめない強い心と、自分から積極的に動いてみるということの大切さを学びました。今後この経験を生かして残りの大学生活、そして就職活動、就職も頑張っていきたいなと思います。

2018年度 交換留学 留学報告書

国際交流学科 3年

留学先：韓国 新羅大学

留学期間：2018年2月～2018年12月

私は今回の留学を通して、語学力はもちろん自分自身とても成長できたと実感する部分が多く、夢のような充実した1年間を過ごせたと思います。私は韓国と日本のハーフという境遇のため親戚たちも韓国にいますが、家族の中で私だけ日本で生まれ育ったため、韓国語が話せず、幼い頃はいつも日本語と韓国語のできる家族に通訳をしてもらっていたのですが、これがとてももどかしく、大学に入る少し前から韓国語の勉強を始めました。外国語の中でも日本語と似た部分の多い韓国語は私たち日本人が学びやすいと感じますが、やはり言語というのはその国に行くことで、さらに上達するものだと思い、"大学に入ったら必ず交換留学生として1年間留学をする"という目標を持ち、大学生活をスタートさせました。そしてついに、大学3年生の1年間、希望通り留学を実現させることができました。

留学生活は過ごし方次第で1年後の自分に大きく差があると思い、私は大きく2つ目標を立てました。まずは韓国人や外国人の友達をたくさんつくるとことです。留学先で結局日本人とばかり一緒にいては意味がないと思い、日本語から離れて生活することを決めました。次に、メモをする習慣をつけることです。学校でテストなどにむけて単語や文法を暗記することも大切ですが、実際に経験しながら知った単語や言葉の言い回し方はもっととっと身になると考え、新しく知った言葉はすぐにメモできるようにしようと思いました。

こういった目標を掲げた中始まった留学生活だったのですが、まずは本当にたくさんの友達がすぐにできていった気がします。同じ大学に通う韓国人はもちろん語学堂で出会ったアメリカ、ロシア、中国、マレーシア、スウェーデン、スイス、インド、ウズベキスタン、カザフスタン、カナダ、フランス、ベトナム、モンゴルなどなど...たくさんの外国人の友達ができ、韓国留学ではありましたが様々な国の文化に触れ、日本語ではなく、韓国語と英語を使った生活の中でグローバルな視点を身につけられ、日本ではできない経験をしました。また違う国の人とルームメイトとして一緒に生活をした時間も私にとって忘れられない大切な時間で、家にいる時間も韓国語を常に話していただける環境、他の国の文化や考えについてたくさん知れる機会になり、きっとこれから先もずっと家族のような存在でいるであろう大切な友人になりました。そんな友人たちがいたからこそ毎日の学校生活と放課後が、本当に楽しくて1日1日があっという間に過ぎて行きました。

思い出がたくさんある中で、学校の中でのことを挙げると、たくさんの行事があったのですが、どれも私の知っている日本の学校の行事とは全く違う雰囲気、規模だったことが忘れられません。例えばステージがまるでコンサート会場のようなところで即興ダンスをすると景品にiPadやスタバのカード2万円分をもらえたり、ビールの早飲み対決の優勝者には商品券数万円分などなど...企画がアメリカンスタイルだなあと感じる部分が多く、豪華すぎる景品には驚きました。また春にあった学園祭には韓国で誰もが知っているスター歌手のPSYが3時間ものライブをしてくれました。学生たちみんなと一緒に歌って踊って、本当に幸せすぎる時間でした...また、語学堂では体育祭なども開催されて、まさか大学に入ってか

らまたこんなに熱くなれる体育祭を経験できるとは思っていなかったため、本当に新羅大学に来てよかったと思うことばかりでした。

次に学習の面では、自分でも驚くほどの成長がありました。前期は語学堂の授業が毎日あったのですが、最初のレベルテストで一番上のクラスになったものの、TOPIK 試験に向けての授業の日は、慣れない TOPIK の問題に手こずったり、今までに学んだことのないような難しい単語や文法が多かったりと、辛いと思うこともありました。予習復習をしながら授業をきちんと受けていたらだんだんとわかる事が増え、試験の傾向も掴めて辛いという気持ちより、わかることが増えることが楽しくなっていました。そして、結果として 7 月にあった TOPIK 試験では 1 番上の 6 級を取得することができました。7 月からは TOPIK 試験に向けてしていた勉強から日常でより使える言葉を増やしたいと思い、韓国のテレビをたくさんみるようになりました。そわからない単語や初めて聞く言い回しがあれば調べてメモをしていたのですが、この夏頃からふと、日本のテレビを見ている感覚で自然に韓国のテレビ番組を見ていることに気がついて語学力が向上していると実感しました。後期は語学堂には行かず韓国人と一緒に大学の正規授業を履修していたのですが、これも最初は苦労することが多かったです。釜山訛りの激しい早口の教授の授業に困惑したり、日本語でも理解の難しいような内容についての論文をかがなければならなかったのですが、だんだんと慣れていき、無事に 1 学期を終えた今では努力すればできるのだという自信を持つことができました。そして、留学を終える頃、友人たちが手紙をくれたのですが、その中でも韓国人の友人たちからの手紙に、春にはじめて会った時よりもはるかに韓国語が上達していて日本人ということ忘れていたというような内容のものがたくさんあり、留学開始当初から知っている韓国人の友人たちにそうしてもらえたことが本当に嬉しく、きちんと努力が実ったのだと思えました。

私の 1 年間の留学生活はここには書ききれないほどの思い出ができ、一生自分の武器となるであろう語学力を身につけることができました。こういった留学の機会をいただけたことにすごく感謝をしていて、今もし、留学に行こうか迷っている人がいれば絶対に挑戦して欲しいと伝えたいです。